



神辺中だより

6

令和7年10月
神辺中学校長

文化展示会開催

9月8日(月)～12日(金)の5日間、美術部や科学工作部が制作した作品、保健委員会による性の多様化の作品、PTA主催で行ったマクラメづくりやマジック体験の様子、美術や国語の授業で制作した作品、教頭先生の大阪万博訪問記などを展示しました。多くの生徒や保護者にご観覧いただきました。ありがとうございました。



黒板アート(美術部)



生徒作成ポスター



粘土で作成した和菓子(美術授業で)



ばらをモチーフにした絵画(美術部)



折ばらのオブジェ



性の多様性について(保健委員会)



マクラメづくり&マジック体験(PTA)

第74回備後地区生徒児童発明くふう展の結果

9月9日に審査会が開催され、本校生徒と学校が各賞に選ばれましたので紹介します。

福山市長賞(前田竜之介)

作品名「みつてくん」

優秀賞(中村真那斗)

作品名「怪我しない押しピン」

優秀賞(橋本沙樹・大杉優月)

作品名「ライフステップ(命を守る一步)」

中国新聞社賞【団体賞】(神辺中学校)

この他にも努力賞を9名の生徒が受賞しました。



『読書の秋』

やっと暑さが和らいできました。いよいよ秋の到来です。が、今年は秋らしい秋は短く、11月になると突然冬が来たかのような寒さになることがあるという予報も出ています。もう少し、暑さ寒さを気にせず過ごしたいものです。

とは言え、せつかくの秋です。スポーツ、食欲、芸術をしっかり満喫できればと思います。生徒たちには、特に「読書の秋」を期待します。

3年生が4月に受けた全国学力・学習状況調査では、本校3年生の54%が「読書が好き」と回答しています。全国平均より10ポイントほど低い値です。ゲームやスマホ、ICTの普及によって活字離れが叫ばれていますが、今一度活字を読む面白さやその効果に目を向けていくべきだと思います。

人の一生には限りがあり、一人の人間が経験できることは世の中で起きていることのほんの一握りです。出会える人にも限りがあります。しかし、読書することによって、自分では体験できないことを本の中で体験できます。また、いろいろな立場の人の考え方や生き方を知ることによって、多角的に物事を捉えることができるようになります。すてきな本との出会いが将来の方向性を教えてくれることもあります。本を読むことで心の奥にたくさんの栄養をためていき、自分の人生を豊かで実り多きものにしてほしいと思います。

「うちの子、本を読まないんです」という声を聞くことがあります。まずは本を読む環境を作ってみませんか。テレビを消して、スマホの電源を切る。家族みんなで本を読みふける時間を設けてみてはいかがでしょうか。大人も子どもも心の中に栄養が蓄えられていきますように。

10月4日(土)、体育大会を実施します。暑さの中、大きな掛け声で仲間と協力して練習してきた成果を精一杯発揮することと思います。熱い声援をよろしくお願いいたします。

なお、当日は学校周辺での混雑が予想されます。自家用車での来校は控えてください。また、近隣の住民の皆様にとりましては賑やかな一日になるかと思いますが、ご理解と協力のほど、よろしくお願いいたします。

